

2023 年度 第2回市立須坂図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 2023 年 10 月 17 日(火)午後2時～3時10分
- 2 開催場所 市立須坂図書館 第1講習室(西館2階)
- 3 出席委員 7名
- 4 欠席委員 2名
- 5 事務局 図書館長、管理係長
- 6 配布資料 資料1 2023 年度上半期事業報告及び下半期事業計画について
資料2 市立須坂図書館の開館時間について
- 7 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑（◇は委員の発言、◆は事務局の発言）
(1) 2023 年度 上半期事業報告について

(2) 2023 年度 下半期事業計画について

◇読書感想文コンクールは昨年よりは応募作品数が増えたとのことだが、5年位の長いスパンで増減の状況はどうか。

◆減少傾向で、特に小学校で応募数が減っている傾向にある。感想文への取組みは、夏休みの課題を出す担任の先生の方針も影響している。

◇（学校関係者）授業の中で読書感想文を扱える時間の減少や、他の教科の兼ね合いで国語の総時間数が減少している。どの学校も夏休みの課題に組み込むことが一般的で、中学校は特に夏休みの課題に入れている学校が多く、中学校は伸びてきている。逆に小学校は、他のコンクールがいくつもある中で、自分が取り組むものを選択して取り組んでいる。それぞれが興味関心のあるものに挑戦するという夏休みの課題であるため、読書感想文への取組みとしては減ってしまっている。また、コロナ禍が始まったときに夏休みが短縮されて課題に取り組む時間が限られ、3年前は特に少なかった。

◆コロナ禍の影響で2020年度は須高の読書感想文コンクールを中止した。子どもの夏休みが10日程という現状の中で、夏休みに読書感想文を書いてくるという宿題を出すことが難しかった。ただそれでも書いて、学校や図書館へ持ってきてくれた子どももいた。課題の種類も増えている中で読書感想文を上手に選んでいただき、一生に一度か二度、読書感想文を頑張るという経験は将来きっと役立つと思うので、そんな機会をぜひ作っていただけるよう、学校とも協力していきたい。

◇県下全体からみて、須高地区の応募数はどうか。

◇（学校関係者）他地区と比べて中学校は多い傾向、小学校は少ない傾向にある。ただ、年度によってもだいぶ波がある。全県的に見て数ほどの地区も減ってきていると感じる。

◇学校の図書館との連携や役割分担についてどのような状況か。司書同士の連携はあるか。

◆すべての小中学校から、学校図書館司書の方と図書館の担当の先生にそれぞれ参加していただき、須高地区 19 の小中学校と市町村図書館で図書館協会須高支部を組織している。またその中の学校関係者で学校図書館委員会としての活動をされており、そちらの先生方が中心となって読書感想文コンクールの審査なども行っている。それぞれの学校司書の先生とは連絡を密にして、学校で足りない本などを須坂図書館の配本室から貸し出すほか、学級文庫としても提供している。須坂小学校ではすべての学級で、学校図書館で借りる前の 1・2 年生に重点的に全部で 500 冊ほど配本している。学期ごとに先生に本を選びにきていただき、入替をしてもらう。そちらが好評で、今年は豊洲小学校、まもなく日野小学校とも学級文庫の連携を始める予定。今後は「デジとしょ信州」の電子図書も、学習用タブレットが配布されている状況の中、電子図書をきっかけに本で楽しんでいただく、知識をつけていただくよう利用促進の取組みを進めていきたい。

(3) 図書館の開館時間について

◆開館時間については、しばらく前から他の図書館の実情をお聞きしたり、市立須坂図書館のサービスを改革したりしながら考えている。まずは一番に協議会の意見を頂戴して、今後の展開・方向性を出していきたい。市民の皆様にごできる限り長い時間ご利用いただけるようにと、夜の 7 時まで職員が出勤している時間ほぼすべてを開館時間としてご提供してきたが、これまでの「時間」を提供することから、「質」を提供していくという方向で考えている。これまで長い時間開けておくことがサービスだった時代から、棚の点検に割く時間、地域のために地域にあった本を選んで買っていく選書の時間、作業の時間を考慮に入れて、開館時間を 9 時 30 分へ移行することで質のサービスを向上するという考えについて、皆様のご意見をお聞きしながら、今後のことをご一緒に考えていただければ有難いと思い、資料を本日ご提示させていただいた。

蔵書冊数が 22 万冊と昔に比べて増えて、またここ 10 年間程の改修によって児童室・郷土室・閲覧コーナー等フロアも広くなっており、そういった所の作業の時間も以前に増して必要となってきている現状もある。図書館の仕事はカウンターで本を貸出したり、返却された本を棚に戻したりする作業だけでなく、事務室の中で作業する時間もとても必要。皆様にご意見を伺えればと思う。またもし良いアイデアがあれば教えていただきたい。

◇冬季の 11 月～2 月頃までは日が短く雪もあるのでもっと閉館を早く、30 分から 1 時間早めてもよい。夜は凍結していると車の運転が怖く、特に高齢者はなかなか出かけられないが、職員の人も同じでは。ご家族も待っている。利用者が少なくなれば 6 時閉館でもいいのでは。開館時間は、職員が仕事上必要ということであれば 9 時 30 分でもいいと思う。

◇9 時～9 時 30 分、18 時～19 時の利用状況はどうか。

◆8 月～9 月にかけて利用者数を調査したところ、開館～10 時が最も多く、お昼にかけて少なくなり、16～17 時にまた増えるという形だった。平日 17・18 時台が最も少なかった。休日は 17 時までの開館となるため、17 時前が一つのピークとなる。

◇開館を 9 時 30 分にしたい理由が明らかになっているのであれば、ただ単に遅らせるわけではないので、その分本の整頓などをして万全の状態を迎えていただければいいのではと思う。

◇岡谷市は 9 時 30 分～18 時 30 分への時間変更を検討している。須坂市は 9 時を 9 時 30 分にしても、閉館は 19 時のままだと、さほど来館者数が多い中で、岡谷より 30 分長い開館となる。どの時間帯どの位の人が、また季節によって違いはあるのか。遅い方が有難い年齢層の人と、早い方が有難い年齢層の人は別なのでは。自習室は高校生などもっと遅い方がいいという子もいるかも知れないし、どのくらいの時間まで配慮してあげないといけないのか、すぐには答えが出ない。

◇現状分析がもう少し必要と感じた。もし 9 時 30 分にずらしたら、9 時から利用されていた方に不便をかけることなく、同じような利用がされるものかどうか、もう少し掘り込んだ方がよい。例えば年齢別ではどうなのか。夏時間冬時間を設けるのも一つの手だと思う。規則で決まっているのが厄介で、ここに自由裁量の権限を持たせた方がいいのではと思うが。数値だけでなく、実際よく利用される方のお声を聞いて、その声を生かした方がいい。質のサービスを上げるという目的については、いいと思う。

◇朝 9 時に来館する方には 30 分遅くなりますとお伝えすれば、それなりに新しい習慣で来てくださるのでは。9 時 30 分からの開館でもよいと思う。

◇開館時間と合わせて閉館時間ももちろん検討されているのか。閉館時間も併せてやった方がいいと思う。規則を変更するのであれば、開館時間を図書館に裁量を持たせる規則が出来ればよいと思うが。

◇始業と同時にオープンだと職員の負担が大きい。始業の前倒しが出来ないのであれば、9 時 30 分という線でいくのがよいと思う。その時間帯の利用者が多いということも考えると、何故変えるのかというところを利用者の皆さんに知ってもらって、30 分遅らせる理由を子どもや中学生にも分かる形で伝えていけばご理解いただけるのではないかなと思う。終わる時間についても、こんなに遅くまでやっていただいているのは有難く思うが、職員は大丈夫なのかなとも思う。

◇市役所は職員の出勤時間とサービス時間が同じだが、民間のサービス業だとオープン前に準備する時間を取るのが一般的な感覚。

◇人を相手に受付などやっていると、どうしても接客対応しなければならならず事務的なことが出来ないということはよく理解できる。図書館の中の業務や質が向上するのであれば、準備を万端にして開館していくという観点からは賛成。

◇図書の貸出はこの時間で終わりだが、読書室は利用できるというように時間をずらすことも、読書室に対する子どもたちの要望が多いのであれば考えられる。

(4) その他

◆来年度の予算編成にあたって、ご利用いただいて感じた改善点など、予算につなげられればと思うがいかがか。

(特に意見なし)

8 その他

- ・「信州図書館まつり 2023」の案内について
- ・協議会委員の任期は来年の6月30日まで。それまで特別なことがなければ、今後特に会議開催予定は無い。

以上